

C言語プログラミング能力認定試験 1級過去問題集

正誤表 (第5版 第1刷、第2刷用) ZJ301L

C言語プログラミング能力認定試験 1級過去問題集 問題文、正答例データに誤りがございました。訂正し、お詫び申し上げます。

【問題冊子】

頁	該当箇所	正誤内容	
P.11	第38回 問2 <仕様>(4) (2)	誤	② コード・データ対照表読み(codedata_tbl_read)を呼び出し、コード・データ対照表ファイルを読み込む。
		正	(②の指示文不要。以降、番号③～⑧を②～⑦に読み替え)
P.26	第42回 問1 <仕様>(2) ⑤の1行目～3行目	誤	⑤ 計測データ表ファイルをオープンし、入力された会員コードのレコード位置により計測データ表の計測データにシーク(SEEK)した後、計測データ初期化処理(init_kojin_keisoku_tbl)を呼び出して得た初期化データを書き込む。
		正	⑤ 計測データ表ファイルをオープンし、入力された会員コードのレコード位置により計測データ表の計測データにシーク(SEEK)した後、計測データ初期化処理(init_kojin_keisoku_tbl)を呼び出して得た初期化データに対して、再利用する会員コードを設定した後書き込む。
P.28	第42回 問2 <仕様>の12行目～16行目	誤	～ また、「計測データ(最新データ～9回前データ)は、会員コードA、Bの計測データを計測した期間の重なりはないものとし、会員コードA、Bのうち最新計測日付が新しいほうの計測データ(最新データ～9回前データ)を先に、最新計測日付が古いほうの計測データ(最新データ～9回前データ)を後に、入るだけ格納する。
		正	～ また、会員コードA、Bのうち最新計測日付が新しいほうの計測データ(最新データ～9回前データ)を先に、最新計測日付が古いほうの計測データ(最新データ～9回前データ)を後に、入るだけ格納する。なお、会員コードA、Bの計測データを計測した期間の重なりはないものとする。
P.29	第42回 問2 <仕様>(2) ⑨の7行目～8行目	誤	・「最高記録日付」は、計測データA、Bのうち最高記録データが大きいほうの最高記録日付
		正	・「最高記録日付」は、計測データA、Bのうち最高記録データが大きいほうの最高記録日付。ただし、最高記録データが同じ場合は、計測データAのほうを最高記録日付にする。
P.56	ソースプログラムリスト 空きコード表 作成処理 akicode_tbl_create	誤	<pre>/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {</pre>
		正	<pre>/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {</pre>
P.56	ソースプログラムリスト コード・データ対照表 作成処理 codedata_tbl_create	誤	<pre>/* コード・データ対照表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {</pre>
		正	<pre>/* コード・データ対照表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {</pre>
P.62	ソースプログラムリスト 空きコード表 更新処理 akicode_tbl_update	誤	<pre>/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {</pre>
		正	<pre>/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {</pre>
P.76	ソースプログラムリスト 個人計測データ表 削除処理 kojin_data_delete	誤	<pre>/* テンポラリファイル OPEN -> NULL ? */ if((tmp = fopen(tmpf1, "w+b")) == NULL) {</pre>
		正	<pre>/* テンポラリファイル OPEN -> NULL ? */ if((tmp = fopen(tmpf1, "wb")) == NULL) {</pre>
P.78	ソースプログラムリスト 空きコード表 追加処理 akicode_tbl_add	誤	<pre>/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {</pre>
		正	<pre>/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {</pre>

【ダウンロードファイル】

頁	該当箇所	正誤内容	
採点基準 データ	正答例/38回_H27年第3回 /H27No3C1級採点基準.pdf 問2 2	誤	①上記の項目1の仕様変更について、書式1に3.3.3、4.5.1、4.5.2、4.5.3の追加および変更の概要が記述されていない。 ②上記の項目1の仕様変更について、書式2に3.3.3、4.5.1、4.5.2、4.5.3の追加および変更の内容が具体的に記述されていない。
		正	①上記の項目1の仕様変更について、書式1に4.5.1、4.5.2、4.5.3の追加の概要が記述されていない。 ②上記の項目1の仕様変更について、書式2に4.5.1、4.5.2、4.5.3の追加の内容が具体的に記述されていない。
変更仕様 データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2 変更仕様.pdf 頁(1/6) 項番1.3 ⇒頁(1/5) 項番1.3に訂正	誤	変更 完成構成図の「コード・データ対照表読み込み処理」(codedata_tbl_read)を共通ルーチンにする。
		正	(変更に関する記載不要)
変更仕様 データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2 変更仕様.pdf 頁(1/6) 項番3.3.3 ⇒頁(1/5) 項番3.3.3に訂正	誤	変更 コード・データ対照表読み込みを共通プログラムに変更する。
		正	(変更に関する記載不要)
変更仕様 データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2 変更仕様.pdf 頁(1/6) 項番4.5.1 ⇒頁(1/5) 項番4.5.1に訂正	誤	・コード・データ対照表読み込み(codedata_tbl_read)を呼び出し、コード・データ対照表ファイルを読み込む。
		正	(記載不要)

(裏面に続く)

頁	該当箇所	正誤内容	
変更仕様データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2_変更仕様.pdf 頁(4/6) 1. 3.	誤	(頁4/6 1. 3. 計測記録入力処理の変更仕様)
		正	(頁4/6 1. 3. 計測記録入力処理の変更仕様の記載不要)
変更仕様データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2_変更仕様.pdf 頁(5/6) 1. 5. ⇒頁(4/5) 1. 5. に訂正	誤	コード・データ対照表読み込み処理(注1) codedata_tbl_read
		正	(記載不要)
変更仕様データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2_変更仕様.pdf 頁(5/6) 3. 3. 3. ⇒頁(4/5) 3. 3. 3. に訂正	誤	<u>/変更/</u> ・codedata_tbl_read コード・データ対照表読み込み(共通プログラム)
		正	・codedata_tbl_read コード・データ対照表読み込み
変更仕様データ	正答例/38回_H27年第3回/H27No3 問2_変更仕様.pdf 頁(6/6) 4. 5. 1. 処理概要 ⇒頁(5/5) 4. 5. 1. に訂正	誤	・コード・データ対照表読み込み(codedata_tbl_read)を呼び出し、コード・データ対照表ファイルを読み込む。
		正	(記載不要)
正答例データ	正答例/38回_H27年第3回 /prog2/keisoku.c 631行目	誤	printf("\n 現在会員が登録されていません\n"); return OK;
		正	printf("\n 現在_入会者がいません\n"); return NG;
正答例データ	正答例/38回_H27年第3回 /prog2/keisoku.c 639行目	誤	scanf(current_ym, "%04d%02d", &year, &month);
		正	scanf(current_ym, "%4d%2d", &year, &month);
正答例データ	正答例/41回_H28年第3回 /prog1/sakujyo.c 203行目	誤	if ((fp = fopen(fname, "wt")) == NULL) {
		正	if ((fp = fopen(fname, "w")) == NULL) {
正答例データ	正答例/42回_H29年第1回 /prog1/keisoku.c 653行目	誤	kojin_keisoku_tbl = init_kojin_keisoku_tbl();
		正	kojin_keisoku_tbl = init_kojin_keisoku_tbl(); kojin_keisoku_tbl.kain_code = kain_code;
正答例データ	正答例/各回 ①prog1/main.c akicode_tbl_create ②prog2/main.c akicode_tbl_create	誤	/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {
		正	/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {
正答例データ	正答例/各回 ①prog1/main.c codedata_tbl_create ②prog2/main.c codedata_tbl_create	誤	/* コード・データ対照表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {
		正	/* コード・データ対照表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {
正答例データ	正答例/各回 ①prog1/nyuukai.c akicode_tbl_update ②prog2/nyuukai.c akicode_tbl_update	誤	/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {
		正	/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {
正答例データ	正答例/各回 ①prog1/sakujyo.c kojindata_delete ②prog2/sakujyo.c kojindata_delete	誤	/* テンポラリファイル OPEN -> NULL ? */ if((tmp = fopen(tmpfl, "w+b")) == NULL) {
		正	/* テンポラリファイル OPEN -> NULL ? */ if((tmp = fopen(tmpfl, "wb")) == NULL) {
正答例データ	正答例/各回 ①prog1/sakujyo.c akicode_tbl_add ②prog2/sakujyo.c akicode_tbl_add	誤	/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "w+b")) == NULL) {
		正	/* 空きコード表ファイル OPEN -> NULL ? */ if((fp = fopen(fname, "wb")) == NULL) {

※2023年12月6日以前に当問題集の正答例データをダウンロードされた場合は、上記修正箇所に関連した修正済正答例データの再ダウンロードをお願いいたします。
ダウンロードページ: <https://www.sikaku.gr.jp/dl/c/>

2023年12月6日
以上